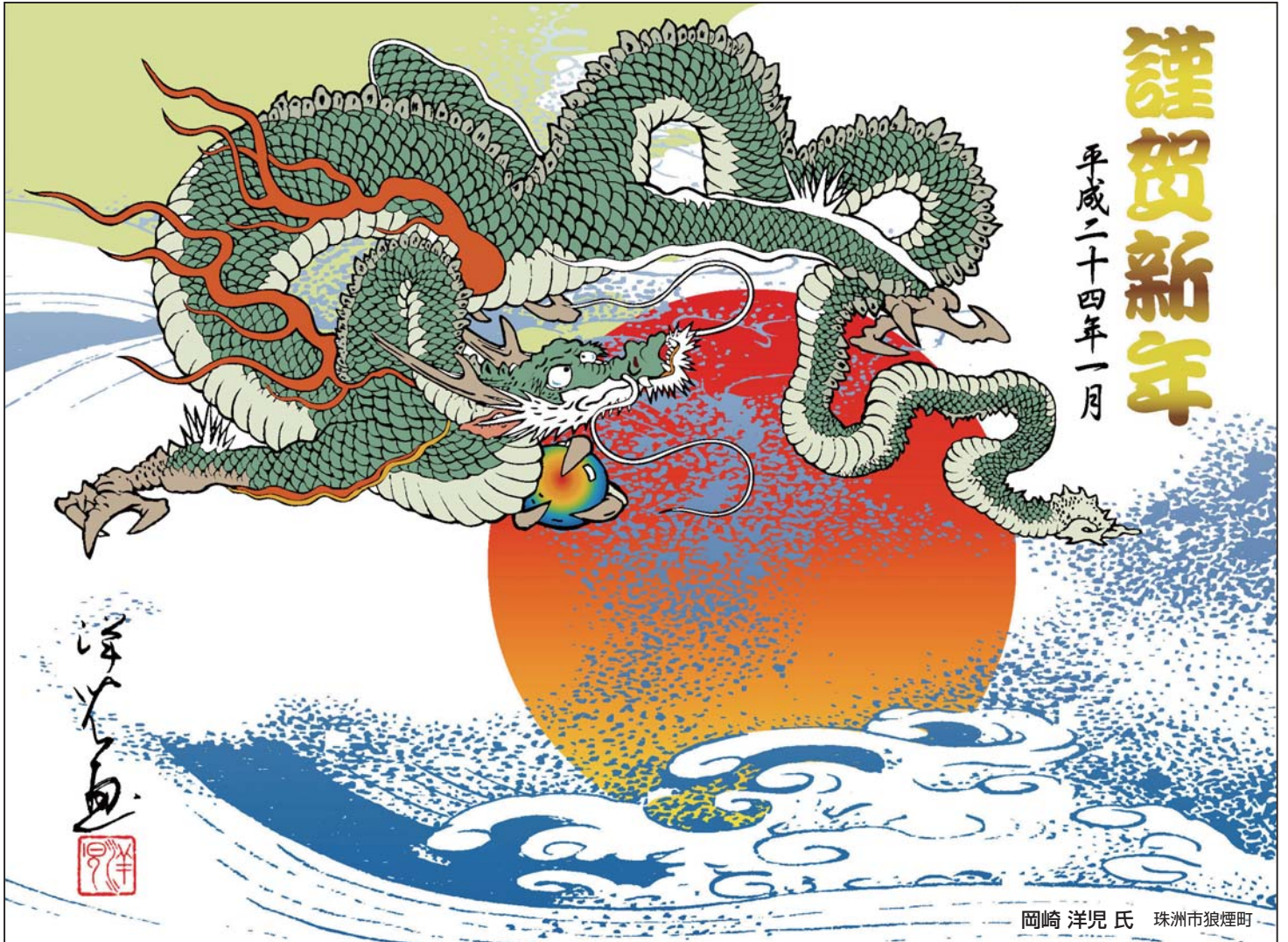


謹賀新年

平成二十四年一月



岡崎 洋児 氏 珠洲市狼煙町

今年もふるさと情報満載のたよりになるよう努力します。配布ご希望の方はご連絡ください。

「東京奥能登応援団のホームページ」アドレスは <http://okunoto.net> です。

ふるさと

アイデンティティ

⑬

香りに味わいの奥能登「地酒」と杜氏

のつけから私事で恐縮ながら、新年は生まれ故郷の地酒、宗玄（生原酒）の献盃から始まる。飲む程に香り華やかに細やかな味合いが心にも身にも広がる。古書『能登志徴』によれば、宗玄忠五郎という酒造家が三百年にわたり奥郡に名酒を醸造せりとある。清い水と美味しい米に恵まれた奥能登なればこそ、現在十一軒の酒蔵がある。

帰省すると生家近くの地酒、初桜、大江山も所望する。いずれもすっきりとして且つ濃くがある。造り酒屋を訪ねると、小ぶりながら土地柄に根ざした酒造に精魂を注ぐ趣きのある蔵構えだ。まさに昔から「酒の国」と呼ばれた所以であろうか。

また、奥能登は酒造業が盛んだったので、酒造技術に長けた人が多く輩出し、〈杜氏所〉でもある。古くは「能登衆」と呼ばれた能登杜氏は、丹波、但馬、安芸津、三津等の杜氏とともに日本を代表する酒造りなのである。

子どもの頃、冬場になれば村の人は「おとしべ」と言っ、杜氏を統率者とし数十人の集団が蔵人となって出稼ぎに行った。最盛期には県内はもとより、富山、滋賀、三重、京都、静岡、東京、北海道など、中には遠く海外にまで出かけていた。

近年、酒屋の機械化が進み蔵人は減少したが、地酒ブームの中で能登杜氏は酒の匠として輝いている。

（押上武文〈府中市・宝立町出身〉）

アンテナの珠洲日記(2)

「浜中」で黄金の岩がきを食べた、と言いたいところだが、残念ながら季節ではない。立派な殻を見せてもらった。

元来、岩がきは地元ではそれほどの人気ではなかった、と聞いてすこっけた。確かに街では王様の岩がきも、アワビの産地では召使になる。

話は25年前に遡る。「漁礁」(魚のための柱だけのマンション)を沖に大量に沈めた。15年後「家賃をもらおうと思って」(浜中主人談)潜ると、アワビの代わりに岩がきがびっしり付いていた。

15年間かけて育った岩がきは、通常の地元のもの比べても濃厚で超クリーミーだった。

観光客や近隣から人気に火が付き、8年ほど前から出荷を始めた。天然ものなので、採れば採るほど少なくなる。

普通なら欲に目がくらんで養殖に走るところだが、何もしないのが、いかにも珠洲らしい。ところでなぜ「黄金」なの



か。この辺りは潮の流れが早いので、フジツボが付かない。原形のままの巨大な岩がき、海底でゴールドに反射して見えた、とのこと。

「浜中」の店を後にしてから気が付いた。先ほどのメニューには「能登弁」とあった。どういふものか、同行のゲンさん(商工会議所)に聞いてみた。

岩がき弁もあれば、サザエの卵とじ弁もあれば、きのこ弁もある。店によって違う、という答えは予想外だった。

最近のご当地グルメがブームである。姫路のおでん、富士宮やきそば、山梨の鳥もつ煮……。店によって味が違うのは当たり前だが、素材が違うとは初耳だ。

ゲンさんによる能登弁の定義は3つある。

- ①能登のこしひかりを使用。
- ②能登の食材を使用。
- ③珠洲焼のどんぶりを使用。

早い話が、何でもアリ、に限りなく近い。

ここで私はようやく珠洲焼のなんたるかを学んだ。鉄分の多い土を素焼きにし、焼き締める。素朴な黒の肌は、ビールに細やかな泡を与え、常温の酒にもまろやかに馴染む。

酒と言えば「宗玄」。「浜中」で味わった冷酒の酒蔵を、早速見せてもらうことになった。(つづく)



荻野アンナさん

(慶應大学文学部教授)

交流の輪

11月5日から7日まで首都圏の灯台愛好家の「ライトハウスラバーズ」23人が能登の灯台を巡りました。一行は金沢駅からレンタ



カーで、金沢の大野灯台を皮切りに能登半島の外浦から内浦の海岸沿いを時計回りに鶴川導流堤灯台まで9か所の灯台を訪問しました。海上保安庁OBのガイドが同行し、日本最古の灯台である木造瓦葺きの福浦灯台をはじめ半島最先端の禄剛埼灯台の中まで入ってじっくり見学しました。

愛好会の会員である南賀博氏(飯田町出身)は、小学校の遠足を思い起こす懐かしい旅行に満足の様子でありました。

灯台愛好団体の訪問

●ライトハウスラバーズ
神奈川県藤沢市
片瀬海岸1-12-23
0466-28-28057



禄剛埼を訪問する一行「ライトハウスラバーズ」

横浜銭湯めぐり会の能登ツアー

〜見附島の銭湯絵に魅せられて
中島絵師と本物を訪ねる旅〜

1月14日(土)〜15日(日)
14日、宗玄酒造など
酒蔵めぐり

珠洲の銭湯めぐり
珪藻土切り出し
現場見学など

18:00〜 見附海岸
民宿田崎荘で懇親会



アンテナショップ流山市江戸川台

〒270-0111 千葉県流山市江戸川台東2丁目17番地
TEL・FAX: 04-7151-0450



能登の塩や
海産物が販売
されています。

第49回東京珠洲会の開催

昨年10月13日(木)午後2時から東京上野御徒町の「吉池ビル」において、東京珠洲会の総会及び懇親会が来賓及び会員計70名の参加により盛大に開催された。

笠原英二新会長の就任挨拶に始まり、ご来賓には地元珠洲から駆け付けた水元副市長をはじめ、商工会議所からは藤野副会頭、地元出身力士駿馬赤兎(間垣部屋所属)、ドキュメンタリー

飯高同窓会東京支部役員会の開催

11月18日千代田区隼町のグランドアーク半蔵門において、飯田高等学校同窓会東京支部の拡大役員会が21人で開催された。表久雄支部長から総会予定と役員の変更について提案があり、

また、来年10月の「飯田高校創立100周年記念式典」への参加、東京支部のホームページ設立、会員の拡大などについて協議された。

○次回総会を平成24年5月19日(土)午後0時からグランドアーク半蔵門で開催する。特別講演は、太陽光発電研究分野での第一人者の谷辰夫氏(10回生)に要請する
○支部長以下の役員を選挙する。谷辰夫氏(副支部長)を支部長に推薦することが満場一致で承認され

平成24年5月19日(土)午後0時から
千代田区・グランドアーク半蔵門
飯田高校同窓会東京支部総会

特別講演 **谷辰夫氏**
＜東京理科大学名誉教授＞

わが国の今後のエネルギーは(予定)
～新規参加者 歓迎～
お問い合わせ先 表法律事務所
TEL 03-3862-9974

石川県人会総会・新年会

平成24年1月22日(日)新高輪プリンスホテル

- ◎ 県人会関連行事
- ・ 第5回マージャン大会 2月18日(土) 13:00～ JR浜松町近く アフター5
- ・ ゴルフ愛好会 3月24日(土) 埼玉県内で予定 遠慮なくお申し込みください。

◎ 県人会発行「会員カード」のご案内
石川県人会ではこの度「会員カード」を発行しました。5年間有効で、協賛飲食店やお店、事業所で割引きなどサービスが受けられます。当応援団、珠洲会、飯田高校同窓会の会員も発行手数料500円で加入できます。遠慮なくお申し込みください。

【お問い合わせは】
石川県人会 03-3556-1414
ホームページもご参照ください

湯島天満宮梅まつり 奥能登物産展

2月25日(土)、26日(日)

湯島天神境内
主催 能登町観光協会、能登町後援 ふるさと柳田会
首都圏能登町会

能登町の特産品と伝統工芸品の販売、観光PR

ふるさと祭り東京2012
1月7日(土)～15日(日)
後楽園東京ドーム

◎御陣乗太鼓
10日(火) 14:10・16:30
11日(水) 11:00・15:10

◎石川県の物産展
すずしよくとうえん てんぞ
珠洲織陶苑「典座」出店
珠洲市三崎町 TEL 0768-88-2657
牡蠣飯・かに飯など提供

◎ふるさと行事◎

1月11日(水)～2月29日(水)	新宿プリンスホテル 加賀・金沢・能登フェア Fレストランフェア、工芸品・観光紹介 (25Fレストラン 風雅2Fバイキング、B1Fロビー)
1月21日(土)～22日(日)	15:00～開演 新国立劇場中劇場(京王線初台駅) 新作オペラ 高野聖 (泉鏡花原作・オーケストラ・アンサンブル金沢)
1月25日(水)～31日(火)	金沢・能登の物産展 埼玉県熊谷市・八木橋百貨店
1月27日(金)	18:00～ 四谷区民ホール 山本あき(キングレコード・白山市出身) 東京ファーストコンサート
1月28日(土)	11:00～ さいたま市中央区 ホテル・ラフレ
2月10日(金)～12日(日)	さいたま市川島区 新年会 東京ドームシティ・プリズムホール いしかわ伝統工芸フェア2012

頑張る能登人

なでしこリーグ理事長

本田 一男氏



○プロフィール
志賀町出身 昭和16年生まれ。

資格の大原で有名な大原学園理事、日本スポーツ科学専門学校校長、(社)全国産業人能力開発団体連合会専務理事などを歴任され、現職(一般社団法人日本女子サッカーリーグ理事長)。日本トップリーグ連携機構理事を兼務。

○本田理事長に期待

昨年7月、さわやかなプレーで女子サッカーワールドカップ制覇を果たした「なでしこジャパン」。選手たちの不屈の敢闘精神、澁刺としたプレーは、東日本大震災で打ちひしがれていた私たち日本国民の心に、大きな勇気と感動を与えてくれました。

本田氏は、これまでの豊富な経験を縦横に発揮され、日本女子サッカー界の責任者として、その運営、



本田氏は、これまでの豊富な経験を縦横に発揮され、日本女子サッカー界の責任者として、その運営、

競技力向上に尽力されています。次なる目標はロンドンオリンピックでの金メダル。拳って応援しましょう。



能登町と流山市が姉妹都市に

流山市が市政45周年を迎える本年1月を記念し、能登町と姉妹都市の盟約を締結する。

昭和初期、旧内浦町(現能登町)出身の杜氏がみりん醸造蔵元の伝統をくむ流山の酒造会社の創業に深く関わった。戦前、戦後を通じて旧内浦町出身の能登杜氏が酒造会社の中核業務を担って流山の産業を支えて

きた。そして帰郷して家督を継ぐ必要のない人々は流山に定住し、時代を経て2世、3世が活躍している。そつした因縁から、児童の自然体験学習ツアーが行われるなど双方の交流が活発に行われている。来る1月17日(火)流山市のナプシヤルズ日本閣において双方の関係者が出席して「姉妹都市締結記念祝賀会」が開催

される。また、姉妹都市の盟約記念行事として流山市立博物館において「石川県能登町展」が開催され能登町の地理、歴史、産業などが広く市民に紹介される。同市に在住する元流山市議会議員東畑秀雄氏(80歳・内浦町出身)が相互交流の経過を調査した資料なども展示される。

ふるさとの新しい銘店・銘品紹介

① 二・三味珈琲

珠洲市木の浦海岸に店舗を構える二・三味(にざみ)珈琲は珈琲業界や珈琲通の間で知る人ぞ知る存在である。二・三味葉子さんが東京の堀口俊英氏の店で焙煎技術を学び、平成13年に珠洲に戻り祖父の舟小屋を改装して自家焙煎のコーヒー豆店を創業した。

一〇力国余りの豆を用意して、主に6種類のブレンドコーヒーを販売している。常に質の高いコーヒーを自差している。200グラム単位で、いいなぎブレンド(中煎り)、舟小屋ブレンド(やや深煎り)、二・三味ブレンド(深煎り)の

3種が840円、日置ブレンド(中煎り)、てっかまっか(深煎り)、エスプレッソブレンドの3種が945円である。

また、飯田町の249号線沿い8番ラーメンの近くでカフェを開いている。帰省の折には是非お立ち寄り頂き絶妙なお味をお楽しみください。

◆ 二・三味珈琲 shop

珠洲市折戸町木の浦8-99
0768-86-2088

◆ 二・三味珈琲 cafe

珠洲市飯田町7-30-1
0768-82-7023
10:00~19:00 月、火定休



事務局から

新年明けましておめでとうございます。

昨年は千年に一度といわれる未曾有の大震災があり、年末の世界各国の重大ニュースにも上位に採り上げられるなど、かつて見ない一年でありました。身内の小さな慶事など喜ぶのも憚れるほどの衝撃を受けましたが、同時に、被災された方々の端然とした立居振舞いや復興に向けた力強い姿勢は国民に深い感銘を与え、世界をも驚嘆させました。一日も早い復興を祈りつつ、ささやかでも自分のできる支援を続けて行くことと決意した次第です。

ともあれ、昨年は故郷の白米千枚田が世界農業遺産に認定され、珠洲の塩造りが映画化されるなど、地球環境に順応した生活の在り方が評価された年でもありました。

今年のNHKの大河ドラマは「平清盛」。豊かな歴史に裏打ちされた伝統と近代が調和する故郷の良さを広くアピールしていきたいと思えます。本年もよろしくお願いたします。

(乙丸)

平成24年1月7日(土)から29日(日)まで
流山市立博物館 第2展示室

市政(施行)45周年

姉妹都市盟約記念「石川県能登町」展

内容 能登町紹介(観光、物産、交流の経過資料、相互交流の写真展示など)
お問い合わせ先 東畑秀雄氏 TEL04(7152)6973

制作

株式会社 警察研修社 TEL. 03-3365-3829